

モーリシャス豆知識・小話 第21号

2019年1月
在モーリシャス日本国大使館

(1) 今年の目標



恒例の（まあ、昨年からですが）2019年の目標宣言！をしないと、ですね。昨年の当館の目標は、モーリシャス独立50周年及び日モ外交関係樹立50周年の節目の年ということで様々な分野での二国間関係のレベルアップと、モーリシャスへの日本の桜の植樹実現でした。ちなみに、独立50周年は2019年3月12日の独立記念日までが期間ということで、当館も引き続き当館各種イベントを周年事業としてこの3月まで行います。

今年の目標はまず、目指せ当館本事務所への引っ越しです（内輪の話ですみません）。今年3月か4月にサイバーシティ（エベンヌ）に引っ越す予定でしたが、実現はちょっと遅れそうで、それでも今年後半までにはいけそうです。大方の皆様にとっては地の利もよく、利便性が向上することになると思いますから、1日でも早く引っ越せればと思っています。

あとは月並みですが、更なる人的交流の活発化と、経済関係の強化でしょうか。今年は8月に横浜で第7回東京アフリカ国際開発会議（TICAD）が開催されますので、モーリシャスからもハイレベル（できれば首相）に参加してもらい、交流に弾みを付けたいところです。今年は、既にこの1月にボダ公共インフラ・陸運大臣がわが外務省閣僚招聘プログラムで1週間訪日し、日本側関係者と有意義な意見交換を行ったところですが、今後更にモーリシャス経済開発評議会（EDB）も日本にミッションを派遣する予定です。目的はもちろん日本からの投資促進。今年1社でもこの国に進出する日本企業が出てきていただけることを期待したいと思います。

(2) 今年は選挙の年！かな？

モーリシャス国民議会議員の任期が今年12月21日で切れるということで、5年に1回の総選挙の時期が近づいています。解散時期は、この期日前でもよいし、後ろ倒しにする場合は半年以内に選挙が行われればよいそうです。いずれにしろその時期は首相の決断次第、つまり与党にとって一番風向きがよい時期を狙って解散宣言となるのでしょうか。きっと政治家の皆さんは、今年夏以降はもういつでも来い、の臨戦態勢となるのでしょうか。

当館ももちろん、この国の政治情勢とその行く末がどうなるかに注目しているわけですが、選挙となるとそれ以上に治安面、そして何より邦人の皆さんの安全確保が当館最大の関心事です。最近では近隣諸国の南アフリカ、マダガスカル、コンゴ民主共和国などで大統領選挙が行われてきましたが、幸い死活的な混乱には至らず各国駐在の我が同僚も胸をなで下ろしたものと思います。当国も、過去の経験からいって国が大きく乱れることはないでしょう。そう願っていますし、そうした選挙を重ねるごとにモーリシャスが我が日本の更によりきパートナーとなっていくことを期待したいと思います。